

令和2年度

事業計画書

学校法人 **廣池学園**

麗澤教育の理念

麗澤教育は、創立者廣池千九郎が提唱した道徳科学「モラロジー」に基づく知徳一体の教育を基本理念とし、学生生徒の心に仁愛の精神を培い、その上に現代の科学、技術、知識を修得させ、国家、社会の発展と人類の安心、平和、幸福の実現に寄与できる人物を育成する。

麗澤教育のめざす人間像

1. 大きな志をもって真理を探求し、高い品性と深い英知を備えた人物
1. 自然の恵みと先人の恩恵に感謝し、万物を慈しみ育てる心を有する人物
1. 自ら進んで義務と責任を果たし、国際社会に貢献できる人物

キャンパスの環境保全・整備の基本理念と基本方針

< 基本理念 >

キャンパスの環境保全並びに整備は、学生・生徒・園児・教職員及び法人関係者をはじめ、キャンパスを訪れるすべての人々が、「仁草木に及ぶ」という創立者廣池千九郎の仁愛の精神に触れ、道徳心を養うことのできる環境づくりをその基本理念とする。

< 基本方針 >

1. 人々にやすらぎと教育的・道徳的な感化を与える環境づくり
2. 人と自然の共生を図る自然を大切にされた環境づくり
3. 人と自然が調和する安心・安全な環境づくり
4. 地域社会に貢献しうる環境づくり
5. 資源の再生利用に配慮する環境づくり

目 次

I. 事業計画大綱	
1. 事業計画の基本方針及び重点施策	1
II. 部門別事業計画	
1 麗澤大学	2
1. 重点目標	
2. 主な事業計画	
2-1 教育活動	
2-2 研究活動	
2-3 学生支援活動	
2-4 グローバル化活動	
2-5 入試・広報活動	
2-6 キャリア形成支援活動	
2-7 社会連携活動	
2-8 大学経営基盤の強化	
2-9 認証評価対策	
2 麗澤中学・高等学校	4
1. 重点目標	
2. 主な事業計画	
3 麗澤瑞浪中学・高等学校	6
1. 重点目標	
2. 主な事業計画	
4 麗澤幼稚園	8
1. 重点目標	
2. 主な事業計画	
5 法人	10
1. 重点目標	
2. 主な事業計画	
III. 組織	
1. 役員・評議員	11
2. 組織図	12
3. 教職員の構成	14

IV. 予算

1. 資金収支予算	15
2. 事業活動収支予算	16

I. 事業計画大綱

1. 事業計画の基本方針及び重点施策

(1) 基本方針

- 1) 麗澤教育の理念実現に向けた麗澤各校における教育・研究活動の遂行
- 2) 麗澤各校ビジョンの早期実現に向けた施策実行
- 3) 経営・教育・研究基盤の安定化

(2) 重点施策

- 1) 廣池学園創立 100 周年（2035 年）に向けた学園ビジョンの策定
- 2) 「麗澤」ブランドの確立のための施策実行
- 3) 財政基盤の安定化及び麗澤各校のビジョン実現に向けたメリハリある予算編成の策定
- 4) 学生・生徒等の進路実績向上
- 5) 学生・生徒等の安定的確保のための募集・広報力強化
- 6) 学生・生徒等の満足度向上
- 7) 中高教員の働き方改革の実施
- 8) 教員評価制度の導入・実施
- 9) 職員評価（人事考課制度）定着
- 10) 公益財団法人モラロジー研究所との協力

II. 部門別事業計画

1 麗澤大学

日本国内の 18 歳人口が大幅に減少している中、大学をめぐる経営環境は非常に厳しい。麗澤大学は、「世界と日本から真に存在が期待されるコンパクトだがキラリと光る大学」をありたき姿とする「麗澤大学 Vision2035」を掲げ、新しい時代のニーズに応じた学部・学科・専攻の設置と教育活動の見直し等、思い切った改革を実行し、大学の永続的な発展を図る。

1. 重点目標

- (1) 令和 2 年度からスタートする中期計画を着実に実行するとともに、「小規模にこだわる。国際性にこだわる。」をスローガンに、Vision2035 の具現化を推進する。
- (2) 令和 2 年の国際学部新設を契機に、グローバル教育の更なる強化・推進を打ち出し、学部入学者の安定確保を図る。
- (3) 黒字収支の定着により、経営・教育・研究基盤を安定させるとともに、将来の発展への仕込みを行う。

2. 主な事業計画

2-1 教育活動

- (1) 学生の TOEIC スコアの向上及び各関連資格の取得数（率）の向上を目標に更なる教育施策の充実を図る。
- (2) AI・ビジネス専攻、グローバルビジネス専攻における PC 必携化、「統計学基礎」の全学展開など、データサイエンス教育の全学展開・PC 必携化を実施する。
- (3) 道徳系科目の再編成・全学共通化を図り、より実践的な教育内容とする。
- (4) 新学習評価制度の運用を開始し、授業科目・カリキュラムの PDCA・カリキュラムマップのブラッシュアップを図る。
- (5) 「スタートアップ支援」の充実、AL・PBL 型授業との連携を図り、学生の自主的な活動を支援する。
- (6) 中退率 1.8%未滿を目標に、退学・除籍者削減に取り組む。
- (7) Society5.0 時代の安定した情報教育のための麗澤大学情報教育システム整備計画を推進する。
- (8) ノート PC 必携化の推進に必要な ICT を活用した授業展開のモデル化とクラス運営の定着化を図る。
- (9) 各種 IT 資格取得の支援の充実と IT に精通した SA の育成環境を整備する。

2-2 研究活動

- (1) 科研費等の外部資金による研究活動を促進する。
- (2) グローバルリーダー教育に適合できる若手教員・研究者を育成する。

2-3 学生支援活動

- (1) 学生の満足度を高めるよう、学生生活環境（キャンパスライフ・学生寮）の改善を図る。
- (2) 学生相談室の諸活動を通じて、大学全体の学生支援力の向上に寄与する。
- (3) 障がい学生支援室を中心に関連組織との連携をさらに強化し、障がい学生に対する支援体制の充実を図る。

2-4 グローバル化活動

- (1) 質の高い留学派遣プログラムとして、交換留学派遣を促進する。また、交換留学派遣者を増やすために、学内における TOEFL 対策を強化する。
- (2) より多くの学生に留学の機会を提供するために、私費留学を促進する。また、安価で優良なプログラム開発を進めていく。
- (3) 留学事前教育に加えて、留学事後教育として留学事後セミナーを強化する。
- (4) 海外留学派遣・受入の危機管理対策を整備する。特に留学生に関する対策を向上させる。
- (5) 日本人学生と外国人留学生の交流を目的に、学内の国際交流活動として Conversation Partnership を促進する。

2-5 入試・広報活動

- (1) 志願者（入試区分）毎にきめ細かい情報発信等の施策により、教育の評価向上と安定的な入学者確保を図る。
- (2) データに基づく効果測定を行い、合理的な広報および募集施策を展開する。

2-6 キャリア形成支援活動

- (1) 低学年次からのキャリア形成支援及び就職支援をより一層改善強化し、採用・就職スケジュールの変更や、景気変動に伴う採用環境の変化に振り回されない支援体制の更なる強化を図る。
- (2) 卒業時進路未決定者を一人でも少なくすべく、きめ細かな支援を行い、実就職率*90%以上の達成を目指す。

$$*実就職率 = \text{就職者} \div (\text{卒業生} - \text{大学院進学者}) \times 100$$

2-7 社会連携活動

- (1) ROCK が開講する生涯学習講座、特別講演会の生涯学習プログラムの拡充と健全な運営を堅持し、地域社会のシニア世代へ教育機会を提供する。
- (2) 地域・地域・産業・行政との連携により教育力・研究力および社会貢献力を向上させる。

2-8 大学経営基盤の強化

- (1) 教育活動収支の黒字定着を図る。
- (2) 経営組織と協働し、経営力・ガバナンスを強化する。
- (3) 教員評価制度の導入により教育・研究力を強化すると共に、教職員人件費の適正化を図る。
- (4) 計画的なキャンパス整備を実施する。

2-9 認証評価対策

- (1) 認証評価（令和3年度受審）に向けて、学内体制を整備する。
- (2) 教育研究水準の向上に資する準備作業に着手する。

2 麗澤中学・高等学校

建学の精神に則り、国家・社会及び国際社会に貢献できる人材を育成する。この目的を達成するため、教育内容及び教育の質の更なる向上を目指し、ビジョン、中期計画に沿って諸施策を実行に移す。

1. 重点目標

- (1) 2035 年のありたき麗澤中学・高等学校の姿を目指す「ビジョン 35 プロジェクト」実現に向けて、令和 2 年度からスタートする中期計画を着実に実行し、本校の経営基盤の更なる安定化を図る。
- (2) 中期計画の実現に向けて、本校の教育内容を更に充実させる。
 - 1) 各学年が掲げる進路目標、学習達成目標の実現に向けて、学年部長を中心に教育内容の充実を図る。
 - 2) ICT 教育の実用化に向けて、施設整備を進めると共に、教員の活用能力を高めることで、本校の教育の質の更なる向上を図る。
 - 3) 寮体制の改善を進めることにより、男女寮における学習体制の充実を図り、質の高い寮生数の増加を図る。
 - 4) 女子ラグビー部の強化指導部体制を整え、チーム力向上に努める。
- (3) 広報戦略の強化
 - 1) 中学入試および高校入試においてより高い質の志願者数の増加を目指して、中高入試のあり方について見直しを進める。
 - 2) より効果的な広報活動のために、校内外の広報イベントの大幅な見直しを図り、塾や外部機関との関係強化を行う。
- (4) 働き方改革の推進
 - 1) 現在推進中の新しい勤務体制の更なる充実を図ることにより、教員の業務の効率化を推進すると共に、教員間の業務の適正な配分の実現を目指す。
 - 2) 教員の超過勤務を更に縮減することにより、働きやすい充実した職場環境実現を目指す。

2. 主な事業計画

- (1) 教務
 - 1) 令和元年度に導入した新教務システムの安定した運用を実現し、事務作業の更なる効率化を図る。
 - 2) 令和 3 年度施行中学校新学習指導要領および令和 4 年度施行高等学校新指導要領に向けて、教育課程の整備に努める。
- (2) 進路指導・学習指導
 - 1) 東京大学 5 名、難関国立大学 10 名、千葉大学・筑波大学を含む国公立大学 30 名の進学実現に向けて、6 年生を中心に学校を挙げて努力する。
 - 2) 早慶上理 20 名以上、MARCH 50 名以上の進学実現に向けて、6 年生を中心に学校を挙げて努力する。
 - 3) 1～5 年生の各学年の令和 2 年度の学力到達目標実現に向けて、学年部長を中心に、担任・授業担当者が学習指導部および進路指導部の協力の下で、生徒の指導に努める。
 - 4) 中学 1、2 年生の初期指導を更に強化することで、生徒の基礎学力向上に努める。
- (3) 生徒指導

- 1) 登下校中の問題について、トラブル防止に努める。公共マナーの指導及び安全指導のため、教員当番を継続するが、実情に合わせて加減する。
 - 2) インターネット、携帯電話に関する情報モラル（特に「LINE」の利用法、写真の無断掲載など）について、学校集会、学年集会を中心に、より一層注意喚起を図る。
- (4) 特活指導
- 1) 強化指定部である女子ラグビー部の体制を整える。
 - 2) 部活動顧問の適正人数を決定し、顧問の超過勤務の削減を図る。
- (5) 寮
- 1) 寮における学習体制を充実させる。
 - 2) 一貫生からの入寮希望者を増やすための方策を実施する。
 - 3) 令和 2 年度からスタートする女子ラグビー寮の指導体制を固め、スムーズな運営を実現させる。
- (6) ICT 教育
- 1) ICT 教育充実に向けての教員研修を実施し、教員の授業における ICT 活用能力向上を図る。
 - 2) ICT ルームの有効活用を模索する。
 - 3) 教職員のパソコン更新を実施する。
- (7) 入試広報
- 1) 中学および高校の入試日程、入試方法の見直しを行う。
 - 2) より効果的な外部発信のあり方を模索すると共に校内外のイベントのあり方を見直す。
 - 3) 東京・埼玉方面への広報活動を強化する。
- (8) 働き方改革
- 1) 教員の休日を確保するため、週休完全 2 日（年間 120 日休日）を実現させる。
 - 2) 勤務時間を縮減する中で、教員各自の勤務の効率化と適正配分を実現させる。

3 麗澤瑞浪中学・高等学校

建学の精神に則り、道德教育を根幹にして、寮教育や教科指導、部活動や学校行事の充実を図るとともに、諸施策を以下のように実施する。

1. 重点目標

- (1) 生徒数の安定確保と収支構造の改善
 - 1) 入試広報部(募集・広報・入試)を新設し、全国から寮生の確保に努める。
 - 2) 近隣小中学校や学習塾への広報活動を積極的に展開し、通学生の入学者を確保する。
 - 3) 関東・関西の大手塾訪問、企業訪問を行い、全国的な広報活動をより一層推進する。
 - 4) 寮やクラスの管理体制やカリキュラムの変更等を通じて、人件費の削減を行う。
- (2) 寮生活の指導体制の改革
 - 1) 土日帰宅型寮の設置、夜間学習の充実など、中高男女生徒寮における教育体制についての抜本的な改革を推進する。
 - 2) 寮における従来の伝統的な規則やルール等について、見直しや刷新を図る。
 - 3) チューターの勤務体制や業務内容の見直しを図って、勤務環境の改善に努める。
- (3) 学習指導体制の充実
 - 1) 中学校から高校まで6ヵ年における各教科の学習指導体制を確立する。
 - 2) SGU など選抜性の強い大学への合格率の一層の向上を図る。
 - 3) 新しい大学入試制度に対応した学習指導体制を整える。
- (4) 部活動の強化と環境整備
 - 1) 部活動全員加入を維持し、生徒全員が生き生きと活動できる環境の整備を図る。
 - 2) 決められた時間内で実りある活動を行い、学業と両立できる体制を構築する。
 - 3) 外部コーチを積極的に招聘して、教職員の勤務環境の改善を図る。
- (5) 教職員の資質向上と勤務環境の改善
 - 1) 麗澤教育の理解と学習を通じて、教育理念に沿った教育活動の一層の充実を図る。
 - 2) 教職員の休日の部活動も含めた時間外勤務を削減できるように、業務内容の見直しと勤務負担の適正化を図る。
 - 3) 校内の「コンプライアンス向上委員会」を中心に職場管理を徹底して、教職員の執務環境の改善を図る。

2. 主な事業計画

- (1) 経営戦略
 - 1) 学費・寮費の値上げ、寮費減免制度廃止に見合う高付加価値教育を積極的に広報する。
 - 2) 生徒数の管理を行い、校舎・寮の利用計画を策定する。段階的に施設設備を取り壊し、減価償却費を減らすことで、収支改善を図る。
 - 3) バス便削減のため、明智・岩村便を統一便とする。
 - 4) 柏との人事交流も含めて、瑞浪の教職員数を減らし、人件費を削減する。
- (2) 進路戦略
 - 1) Super Global University (以下 SGU) の合格者を 40 名以上、入学者を 20 名以上輩出する。
 - 2) 生徒・保護者・教職員への啓蒙活動を行い、SGU の校内認知度を高めるとともに出張講義、指定校推薦枠の依頼など、SGU との連携を強めていく。

- 3) 総合型選抜、学校推薦型選抜に対応できるよう、思考力・判断力・表現力を向上させる系統的な学習プログラムを策定し、実施する。
- (3) 教育戦略
- 1) 中学の英語指導充実、高等学校の新学習指導要領、高等学校 3 クラス体制に対応する授業カリキュラムを策定する。
 - 2) オンライン英会話、GTEC の全員受験に向けた学習など、output を重視した英語教育を展開するとともに、英単語テストの内容見直しや追試の徹底実施など、下位層を取りこぼさない教育システムを構築する。
 - 3) Identity 教育、Nation 教育、Global 教育を柱とする 6 か年の系統的教育カリキュラムを確立する。カリキュラムマネジメント部を設立し、一部を外部委託しながら各教科教育、総合的な探究の時間、土曜プレミアム講座の有機的な連動を図る。
- (4) 募集広報戦略
- 1) 関東、関西の大手塾訪問、外部説明会への参加、企業訪問などを積極的に行う、接触者数、イベント参加者数を増やす。
 - 2) 教育改革を伝えるコンテンツの作成、メディア（プレスリリース、HP、SNS）を活用した情報発信を積極的に行い、全国における知名度を高める。
 - 3) 中学推薦入試（年内実施、岐阜県外、寮生のみ募集）を設計し、全国からの寮生募集を積極的に行う。
 - 4) 中学 2 期入試や高校併願入試の廃止、高校推薦入試と一般単願同一日開催など、入試制度の見直しを行う。
- (5) 寮
- 1) 週末帰宅型寮生活が円滑に実施できるように関係部署との連絡・調整を行うとともに、週末の日直体制、宿直体制を見直し、チューターのフォローアップ体制を確立する。
 - 2) 3 学期より学習時間を確保できる日課を立案し、関係部署との協議を経て 3 学期から新しい日課を導入する。
 - 3) 生徒による自治寮の実現に向け、育てたい寮生像を明文化し、寮生版 R3 を作成するとともに生徒の自主性や協働性を育てる経年的な寮役員研修制度を策定する。
- (6) 特活
- 1) 週末帰宅型寮生活と整合性の取れる部活動の活動方針を策定し、実施する。
 - 2) 翌年度からの強化指定部に対する奨学金及び寮費減免制度の縮小に向けて、生徒募集のルールを制定する。
 - 3) 活動の縮小・整理統合・寮の係活動との連携も視野に入れ、委員会活動の見直しを行う。
- (7) 働き方改革
- 1) 土曜日の活動（部活動、土曜プレミアム、進学講座、自習監督等）は、原則午前中までとし、教員の休日確保に努める。
 - 2) 日曜日は、やむを得ない校務および公式試合がある場合を除いて、活動を制限し、教員の休日確保に努める。

4 麗澤幼稚園

建学の精神に則り、麗澤教育の入り口としての位置づけのもと、園児の生きる力や基礎体力の向上に努める。また、こころを育む教育を土台にした質の高い幼児教育を提供しつづける園を目指し、ビジョンや中期計画に沿って諸施策を実行に移す。

1. 重点目標

- (1) 「こころを育む麗澤教育」の更なる充実
 - 1) 教育内容の充実
 - 2) 教師の資質向上
 - 3) 教育環境の整備と充実
 - 4) 満三歳児保育開始と安定した運営
- (2) 課外活動の充実
 - 1) 新課外活動の設置
 - 2) 課外活動の小学生クラス設置の検討
- (3) 時代の変化を先取りした園運営
 - 1) 預かり保育の充実
 - 2) 英語教育の充実
 - 3) 事務処理の ICT 化
 - 4) 興味・才能発見プログラム (R-FIT プログラム) の実施準備
- (4) 計画的な募集広報活動
 - 1) 子育て支援棟 (仮称) の建設
 - 2) 未就園児プレルーム「うさぎルーム」の充実
 - 3) パンフレットの刷新・広報の充実
 - 4) 創立 40 周年の記念行事への取り組み
- (5) その他
 - 1) 保育料の変更
 - 2) 給食業者変更と給食回数増及び対象学年の拡大
 - 3) 制服の変更

2. 主な事業計画

- (1) 「こころを育む麗澤教育」の更なる充実
 - 1) 教育内容の充実
 - ・「こころを育む教育」と「立腰教育」を軸にした教育目標の実現
 - ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(10の姿)に照合した教育内容の工夫
 - ・3年間の連続性ある指導カリキュラムの作成
 - 2) 教師の資質向上
 - ・質の高い幼児教育者を目指し、道徳教育も含めた園内研修の充実
 - ・教師自身の保育スキルアップ向上
 - ・新人教師育成と麗澤教育の引継ぎ
 - 3) 教育環境の整備と充実
 - ・工夫ある教育環境構成や積極的なあおぞら保育の実践
 - ・探求心、好奇心に繋がる言葉かけの充実

- 4) 満三歳児保育開始と安定した運営
 - ・満三歳児クラス増に向けて安定したクラス運営と保育内容の充実
- (2) 課外活動の充実
 - 1) 新課外活動の設置
 - ・チアダンス教室の開設と園児募集
 - 2) 課外活動の小学生クラス設置の検討
 - ・英語教室他における小学生クラスの検討
- (3) 時代の変化を先取りした園運営
 - 1) 預かり保育の充実
 - ・定員枠除外による預かり保育システムの確立
 - 2) 英語教育の充実
 - ・ネイティブ講師増による時間確保と英語力強化
 - 3) 事務処理の ICT 化
 - ・預かり保育における事務処理簡素化
 - ・ICT システム導入に伴う操作方法等の職員研修
 - 4) 興味・才能発見プログラム (R-FIT プログラム) の実施準備
 - ・教育カリキュラムの内容と委託団体の検討
 - ・保育時間の延長に向けた運営方法の検討
- (4) 計画的な募集広報活動
 - 1) 子育て支援棟 (仮称) の建設
 - ・令和 3 年度 7 月竣工を目指した建設計画の遂行
 - ・満三歳児クラスの保育料値上げに向けた周知方法の検討・周知
 - 2) 未就園児プレルーム「うさぎルーム」の充実
 - ・今後の運営方法、人員配置、保育内容の検討及び広報の充実
 - 3) パンフレットの刷新・広報の充実
 - ・パンフレットの刷新
 - ・登園可能地域への積極的なチラシ配布の実施
 - 4) 創立 40 周年の記念行事への取り組み
 - ・実行委員会立ち上げと記念行事 (観劇、期別同窓会等) の企画・実施
 - ・在園児、卒園児へ募金協力への呼びかけ
- (5) その他
 - 1) 令和 2 年度より、3,000 円の保育料値上げの実施 (満三歳児 30,000 円、年少組 29,000 円、年中組 28,000 円、年長組 27,000 円)
 - 2) 「(株) さんQ」に給食業者変更。週 2 回の給食提供に変更 (年少組: 2 学期より希望者提供)
 - 3) 令和 2 年度より制服変更 (移行期間は 2 年間)

5 法人

1. 重点目標

- (1) 廣池学園創立 100 周年（2035 年）に向けた学園ビジョンの策定
- (2) 麗澤各校のビジョンの早期実現に向けた施策実行と進捗把握・評価
- (3) 財政基盤の安定化

2. 主な事業計画

- (1) 組織の管理運営体制強化
- (2) 収支改善に資するための諸経費の見直し
- (3) 施設・設備の改善・充実

1) 法人

- ①事務システムネットワークの更新
- ②貴賓館空調機の更新
- ③各所コンクリートブロック塀の耐震補強工事
- ④法人施設の中期計画の作成
- ⑤各校ビジョンに基づく施設整備計画の作成
- ⑥不要施設の取り壊しの検討

2) 麗澤大学

- ①情報教育システム 2020 の運用開始と Wi-Fi 環境の充実
- ②校舎かえで・図書館の外壁修繕検討
- ③大学井戸の更新工事
- ④スモールシアターの移転
- ⑤学生寮のセキュリティ強化工事

3) 麗澤中学・高等学校

- ①教育システム（サーバ・ノート PC）の更改
- ②校舎空調機の更新

4) 麗澤瑞浪中学・高等学校

- ①下水道管改修工事（継続事業）

(4) 広報活動

- 1) 社会的評価を得られる PR 活動（メディアリレーション、ブランディング構築、危機管理広報など）の体制整備により、ブランド・認知を向上させる。
- 2) 麗澤各校の広報活動体制を整備（支援）し、法人全体としての最適な広報の管理・運用の仕組みを構築する。

(5) IT ソリューション

- 1) 業務効率化ソリューションとして業務自動化ツール導入に向けた準備のため、業務プロセスの可視化を推進する。
- 2) 学内制度化を視野に入れた ICT を利活用し時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方を推進するための実証実験を行う。
- 3) 事務システム整備計画にてネットワーク更改を実施する。

(6) 麗澤教育の推進

- 1) 歴代学長・校長である廣池千英先生、廣池千太郎先生の業績を整理する。
- 2) 寮教育のあり方を検討し、各校の寮運営を支援する。

Ⅲ. 組織

1. 役員・評議員

理事（定数 11 人、現員 11 人）

理事長 廣池幹堂

常務理事 中川敏彰、竹政幸雄、廣池英行、山崎裕二

理事 徳永澄憲、西 裕康、藤田知則、松浪 進、松本卓三、渡邊 信

監事（定数 2～3 人、現員 2 人）

濱井利一、風澤俊夫

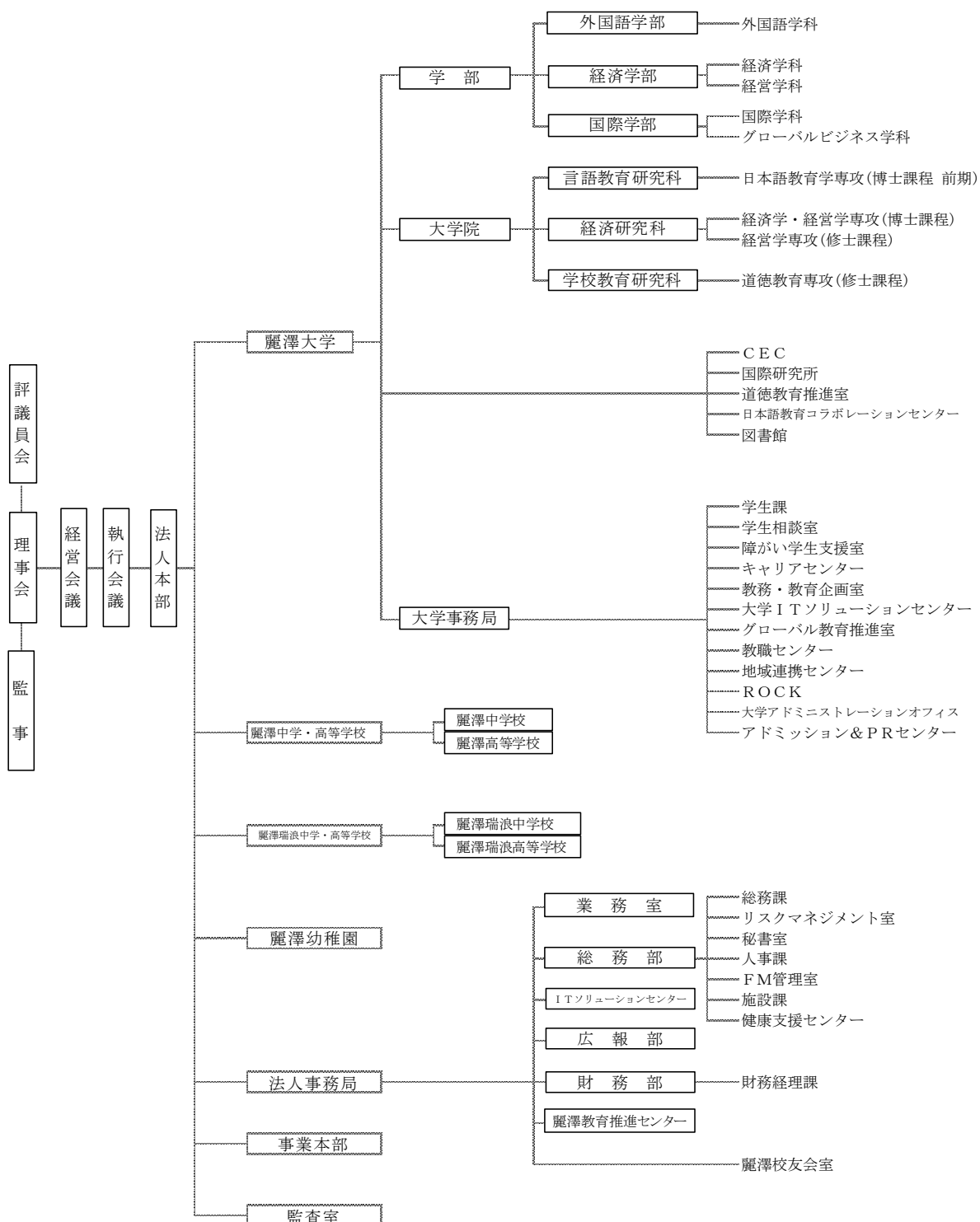
評議員（定数 25 人、現員 23 人（うち中学校長と高等学校長を兼務する者 2 人））

安達 肇、新井眞一、岩澤知子、岡田 喜、籠 義樹、上村昌司、黒須里美、小出 進、
琴谷達郎、高橋秀一、竹政幸雄※、徳永澄憲※、中川敏彰※、西尾征司、野林靖彦、野本廣之、
廣池幹堂※、藤田知則※、古川正儀、俣野幸昭、松本卓三※、山崎裕二※、渡邊 信※

※印は理事兼任者

2. 組織図

令和2年度 学校法人廣池学園 組織図



◎組織の変更（令和2年4月1日付）

1. 麗澤大学大学院の募集停止した専攻について表記を外す。
2. 麗澤大学に国際学部（国際学科、グローバルビジネス学科）を新たに設置する。

3. 別科日本語研修課程を廃止する。
4. C E C、国際研究所、道徳教育推進室を麗澤大学の直下機関として位置付ける。
5. 日本語教育センターを日本語教育コラボレーションセンターに改称する。
6. 学生支援グループを学生課に改称する。
7. 学生相談室を大学事務局に位置付ける。
8. キャリアセンターを大学事務局に位置付ける。
9. 教務グループを教務・教育企画室に改称する。
10. 情報教育センターを大学 I Tソリューションセンターに改称し、大学事務局に位置付ける。
11. 国際交流センターとグローバル戦略室を統合し、大学事務局にグローバル教育推進室として改称設置する。
12. 教職センターを大学事務局に位置付ける。
13. 地域連携センターを大学事務局に位置付ける。
14. 麗澤オープンカレッジとオープンカレッジグループを統合し、大学事務局に **ROCK** として改称設置する。
15. 学長室と教育研究支援グループを統合し、大学アドミニストレーションオフィスに改称する。
16. 入試広報グループをアドミッション&PRセンターに改称する。
17. 総務部にリスクマネジメント室を設置する。
18. I Tソリューション室を I Tソリューションセンターに改称する。
19. 財務部財務課と経理課を統合し、財務経理課として改称設置する。
20. 麗澤校友会室を大学事務局から法人事務局に移管する。

3. 教職員の構成

(令和2年4月1日現在)

区 分		専 任 教 職 員			非常勤講師			常勤嘱託			非常勤嘱託 パート嘱託			総 計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
教育職	麗澤大学	81	36	117	77	32	109	-	-	-	-	-	-	158	68	226
	麗澤高等学校	42	13	55	17	10	27	-	-	-	-	-	-	59	23	82
	麗澤中学校	24	14	38	2	4	6	-	-	-	-	-	-	26	18	44
	麗澤瑞浪高等学校	33	8	41	2	6	8	-	-	-	-	-	-	35	14	49
	麗澤瑞浪中学校	14	5	19	1	2	3	-	-	-	-	-	-	15	7	22
	麗澤幼稚園	1	12	13	0	9	9	-	-	-	-	-	-	1	21	22
小 計		195	88	283	99	63	162	-	-	-	-	-	-	294	151	445
一般職・ 技能職・ 現業職	法人本部	1	0	1	-	-	-	1	0	1	0	0	0	2	0	2
	大学事務局	26	23	49	-	-	-	7	13	20	0	14	14	33	50	83
	業務室	1	0	1	-	-	-	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	総務部	18	5	23	-	-	-	1	2	3	0	6	6	19	13	32
	ITソリューションC	4	0	4	-	-	-	-	-	-	0	1	1	4	1	5
	広報部	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	財務部	5	2	7	-	-	-	0	0	0	0	2	2	5	4	9
	麗澤瑞浪事務部	10	3	13	-	-	-	3	6	9	1	6	7	14	15	29
	麗澤教育推進センター	1	2	3	-	-	-	0	0	0	0	0	0	1	2	3
	麗澤中学・高校事務課	4	5	9	-	-	-	0	2	2	1	8	9	5	15	20
	麗澤幼稚園事務課	0	1	1	-	-	-	0	1	1	0	1	1	0	3	3
	監査室	0	0	0	-	-	-	1	0	1	0	0	0	1	0	1
	事業本部	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	麗澤校友会室	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	1	1	0	1	1
小 計		70	41	111	-	-	-	13	24	37	2	39	41	85	104	189
総 計		265	129	394	99	63	162	13	24	37	2	39	41	379	255	634

注1) 役員・顧問7名は除いた。ただし、教職員給与の支給のある常務理事は専任教職員に含めた。

注2) 専任教職員(教員)の中には嘱託専任教員を含めた。

注3) 無給者(客員教授18名および今年度担当科目を持たない非常勤講師11名)は除いた。

注4) 研究所への出向者3名は総務部へ含めた。

注5) 株式会社LEOCへの出向者4名は麗澤瑞浪事務部へ含めた。

IV. 予算

1. 資金収支予算

資金収支予算書

令和 2年 4月 1日から

令和 3年 3月31日まで

(単位 円)

収入の部			
科 目	令和2年度予算	令和元年度予算	増 減
学生生徒等納付金収入	4,513,972,000	4,559,535,000	△ 45,563,000
手数料収入	113,499,000	97,942,000	15,557,000
寄付金収入	526,469,000	839,700,000	△ 313,231,000
補助金収入	985,458,000	1,074,864,000	△ 89,406,000
資産売却収入	141,000	310,000	△ 169,000
付随事業・収益事業収入	739,046,000	806,614,000	△ 67,568,000
受取利息・配当金収入	220,000,000	224,000,000	△ 4,000,000
雑収入	223,857,000	206,056,000	17,801,000
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,825,284,000	1,854,128,000	△ 28,844,000
その他の収入	1,356,859,000	1,852,788,000	△ 495,929,000
資金収入調整勘定	△ 1,825,284,000	△ 1,856,479,000	31,195,000
前年度繰越支払資金	3,114,785,000	4,211,753,000	△ 1,096,968,000
収入の部合計	11,794,086,000	13,871,211,000	△ 2,077,125,000
支出の部			
科 目	令和2年度予算	令和元年度予算	増 減
人件費支出	3,803,741,000	4,080,784,000	△ 277,043,000
教育研究経費支出	1,293,726,000	1,491,159,000	△ 197,433,000
管理経費支出	1,022,115,000	1,070,678,000	△ 48,563,000
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	235,202,000	295,899,000	△ 60,697,000
設備関係支出	297,187,000	258,657,000	38,530,000
資産運用支出	1,349,859,000	3,410,397,000	△ 2,060,538,000
その他の支出	54,143,000	183,775,000	△ 129,632,000
〔予備費〕	20,000,000	20,000,000	0
資金支出調整勘定	0	△ 54,923,000	54,923,000
翌年度繰越支払資金	3,718,113,000	3,114,785,000	603,328,000
支出の部合計	11,794,086,000	13,871,211,000	△ 2,077,125,000

2. 事業活動収支予算

事業活動収支予算書

令和 2年 4月 1日から

令和 3年 3月31日まで

(単位 円)

教育活動収入の部	科目	令和2年度予算	令和元年度予算	増	減
	学生生徒等納付金	4,513,972,000	4,559,535,000	△	45,563,000
	手数料	113,499,000	97,942,000		15,557,000
	寄付金	527,514,000	796,304,000	△	268,790,000
	経常費等補助金	985,458,000	1,069,973,000	△	84,515,000
	付随事業収入	718,711,000	792,347,000	△	73,636,000
	雑収入	223,857,000	203,096,000		20,761,000
	教育活動収入計	7,083,011,000	7,519,197,000	△	436,186,000
	科目	令和2年度予算	令和元年度予算	増	減
	人件費	3,624,769,000	3,894,710,000	△	269,941,000
教育研究経費	2,268,427,000	2,453,843,000	△	185,416,000	
管理経費	1,238,391,000	1,294,323,000	△	55,932,000	
徴収不能額等	0	0		0	
教育活動支出計	7,131,587,000	7,642,876,000	△	511,289,000	
教育活動収支差額		△ 48,576,000	△ 123,679,000		75,103,000
教育活動外収入の部	科目	令和2年度予算	令和元年度予算	増	減
	受取利息・配当金	220,000,000	224,000,000	△	4,000,000
	その他の教育活動外収入	20,335,000	14,267,000		6,068,000
	教育活動外収入計	240,335,000	238,267,000		2,068,000
	科目	令和2年度予算	令和元年度予算	増	減
	借入金等利息	0	0		0
その他の教育活動外支出	0	0		0	
教育活動外支出計	0	0		0	
教育活動外収支差額		240,335,000	238,267,000		2,068,000
経常収支差額		191,759,000	114,588,000		77,171,000
特別収入の部	科目	令和2年度予算	令和元年度予算	増	減
	資産売却差額	141,000	310,000	△	169,000
	その他の特別収入	3,321,000	56,548,000	△	53,227,000
	特別収入計	3,462,000	56,858,000	△	53,396,000
	科目	令和2年度予算	令和元年度予算	増	減
	資産処分差額	0	0		0
その他の特別支出	0	100,000	△	100,000	
特別支出計	0	100,000	△	100,000	
特別収支差額		3,462,000	56,758,000	△	53,296,000
〔予備費〕		20,000,000	20,000,000		0
基本金組入前当年度収支差額		175,221,000	151,346,000		23,875,000
基本金組入額合計		△ 241,329,000	△ 166,453,000	△	74,876,000
当年度収支差額		△ 66,108,000	△ 15,107,000	△	51,001,000
前年度繰越収支差額		△ 3,871,046,000	△ 4,054,351,000		183,305,000
基本金取崩額		86,726,000	198,412,000	△	111,686,000
翌年度繰越収支差額		△ 3,850,428,000	△ 3,871,046,000		20,618,000
(参考)					
事業活動収入計		7,326,808,000	7,814,322,000	△	487,514,000
事業活動支出計		7,151,587,000	7,662,976,000	△	511,389,000